

前原氏、長島氏に支援要請

民進代表選 野党共闘で温度差

民進党代表選（9月2日

告示・15日投開票）を巡り、前原誠司・元外相は15日、長島昭久・元防衛副大臣と国会内で会談し、出馬を見送り、自らの支援に回るよう要請した。長島氏は自らが率いるグループ（約5人）

で協議するとして回答を保留したが、見送りも視野に検討する方向だ。

前原氏は、自らのグループに約25人が所属しているが、他のグループとの掛け持ちも多く、出馬に必要な推薦人20人の確保が課題と

なっている。

保守系議員の中でも、細野豪志・元環境相が蓮舫代表代行を支持する方向であるため、前原氏としては長島氏からの協力取り付けが不可欠と判断したようだ。

一方で、前原、長島両氏の間には野党共闘について、やや温度差もある。長島氏が共産党との選挙協力に強硬に反対しているのに対し、前原氏は今月8日発売の月刊誌「世界」の中で、「政策論議を深め、共闘のフェーズを進化させる」とし、政策の一致を条件に容認する考えを示している。長島氏は、前原氏の立ち位置を慎重に確認した上で、協力要請に応じるかを判断する構えだ。